

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 413-01-03

事務事業名		ファミリーサポートセンター運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		子育て支援センターふるいち		連絡先		072-958-3308	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	子育て支援		款	3	民生費
	施策の方向	3	地域ぐるみの子育て支援の充実		項	2	児童福祉費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	依頼会員・協力会員ともに、市内在住の生後3か月から小学6年生までの子どものいる方					
	目的 (どうしたいか)	子育ての援助をして欲しい人(依頼会員)と子育ての援助をしたい人(協力会員)の相互援助活動により、地域の子育て支援の輪を広げることを目的としている。					
	手段 (事業内容)	センターは、依頼会員と協力会員との連絡調整等を行う。援助を受けた依頼会員は協力会員に報酬等を支払い、協力会員は援助活動報告書をセンターに提出する。					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
当初予算額	事業費	615	578	580
決算額	事業費	414	383	-
	特定財源等	1,889	1,964	-

≪主な内訳(令和2年度決算)≫

【事業費】
講師謝礼:10千円 行政協力者(講座開催時の保育)謝礼:37千円 消耗品費・電話料:66千円 補償保険188千円 ファミリーサポート・センター特別会員会費55千円
【特定財源】
子ども・子育て支援交付金 国庫負担金 833千円(人件費含む) 府費負担金 833千円(人件費含む) ダルビッシュ有こども福祉基金繰入金 298千円

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	登録会員数	単位	人	
指標の説明	依頼会員、協力会員、両方会員に登録している人数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	200	200	200	
実績	174	167	-	

≪事業の参考数値等≫

令和2年度 会員の内訳
依頼会員 68人
協力会員 68人
両方会員 31人
会員向けスキルアップ講座3日開催

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	援助活動件数	単位	件	
指標の説明	依頼会員の子どもを協力会員が保育した件数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	400	480	480	
実績	453	339	-	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
子育て中の親子や共働きの家庭が、安心して子育てや仕事ができるように、相互援助活動を行う環境は今後も必要である。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
広報活動や手段を検討し、子育ての様々なニーズに対応できるよう、協力会員の確保や利用活動促進に努める。